



令和8年8月31日
磐田市立豊田西保育園

園目標

「笑顔いっぱい・元気いっぱい・夢いっぱい」

重点目標

先生や友達と喜んで関わる子 ・ 心も体もたくましい子 ・ 夢中になって遊ぶ子

今年は昨年よりプール遊びを楽しめており、「気持ちいい！」とはしゃぎながら、プール時間をめいっぱい満喫しています。室内遊びについても各クラスのドキュメンテーションの通り、充実しています。今後も残暑が続きますが、こまめな水分補給と暑さ指数に配慮しながら、元気いっぱいに過ごしていきたいと思ひます。現在全国では、新型コロナウイルスの感染者が増加していると聞きます。健康状態を確認し、発熱、喉の痛みなどの症状がある場合は、医療機関の受診を検討しましょう。

職員が、幼児の絵画指導の研修に参加し、保護者の皆様にも意識していただきたいと感じた内容がありましたので、ご紹介します。

お子さんがかいた絵やつくった物を見た時、思わず「じょうずだね！」と声を掛けていませんか？

実は、「じょうず」という言葉は、大人の基準に当てはめてしまう「しばり」になってしまうことがあります。

「しばり」とは？⇒・大人の評価が基準になる：「褒められるため」にかき、自分の表現したい気持ちが見えなくなる。

・失敗を恐れるようになる：上手にできない不安からダイナミックな挑戦や新しい表現をしなくなる。

・結果だけに囚われる：試行錯誤した楽しさよりも「じょうずにできたか」という結果だけが価値になってしまう。

☆家庭で大切にしたい声掛けのヒント☆

結果（完成した物）や技能（道具の扱い、再現性の高さ、形や線の正確さなど）を認めるだけでなく、「プロセス」や「思い」に目を向けてみましょう。

・行動を具体的に伝える：例「すごく集中してかいてたね、つくっていたね」

・子どもの発見に共感する：例「この色とこの色を合わせたら新しい色に変身したね」「〇がたくさん並んでいて面白いね」

・ストーリーを聞く：例「このロボット、誰が乗っているの？」※ストーリーは無理に聞き出す必要はありません。

絵をかくことや遊びは、正解のない自由な表現の場です。「じょうず」の枠をそと外し、お子さんの「表現したい」という思い（エネルギー）をそのまま受け止めていきましょう。なお、子どもが見付けたものや考えていることに耳を傾ける関わりは、日常のどんな場面でも大切です。「じょうずにできたね」の代わりに子どもの世界と一緒に面白い言葉を掛けていきましょう。

このような関わりは、結果的に、子どもたちに育みたい「生きる力（非認知能力）」にもつながっていきます。

8月の子どもたち

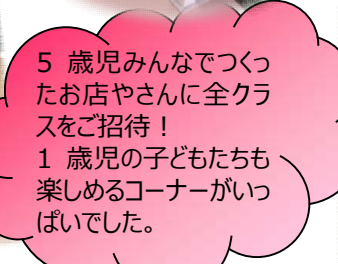
「むっくくまさん」（集団遊び）をみんなで楽しむようになった3歳児。



くぐって、またいで、ジャンプして…色々な形を変える手作りトンネル。慣れてくると、くぐり方を自分で考え変えて遊ぶ2歳児。



5歳児みんなでつくったお店やさんに全クラスをご招待！
1歳児の子どもたちも楽しめるコーナーがいっぱいでした。



「倒れても、平気！また作ればいいじゃん！」失敗も一緒に笑い合える4歳児。



幼小接続に向けて

8月上旬に、北部小学校1年担任2名が、2歳児、5歳児の子どもたちと共に過ごし、生活や遊びを体験しました。

先生方には、就学前の生活や遊びの意義、そして子どもたちに育まれている力について肌で感じ取っていただきました。

・少人数での話し合いでは、一人ずつ思いを伝えたり、友達の考えを聞いたりしながら遊びを進めていて驚きました。発表の場での「～は、～です」と、主語と述語を意識して伝えたりする姿は、国語の学びにつながっていきますね。

・セミと図鑑を見比べ、「クマセミはいるけど、どうしてミンミンゼミはいないのかな？」と気付いたことを比べながら疑問につなげていました。そしてよく見て考え、理由を探ろうとする経験は、生活科や理科的な学びの土台となりますね。

「保育園のカリキュラムってこうなっているのですね」興味津々の先生方。

この教員による保育体験は、小学校側においても、「保育園と小学校の架け橋」となる継続的な取り組みとして正式に位置付けられ、継続して実施されることとなりました。今後も一層連携を強め、子どもたちの育ちを丁寧に伝えていきたいと思ひます。

先生方には、就学前の生活や遊びの意義、そして子どもたちに育まれている力について肌で感じ取っていただきました。

・少人数での話し合いでは、一人ずつ思いを伝えたり、友達の考えを聞いたりしながら遊びを進めていて驚きました。発表の場での「～は、～です」と、主語と述語を意識して伝えたりする姿は、国語の学びにつながっていきますね。

・セミと図鑑を見比べ、「クマセミはいるけど、どうしてミンミンゼミはいないのかな？」と気付いたことを比べながら疑問につなげていました。そしてよく見て考え、理由を探ろうとする経験は、生活科や理科的な学びの土台となりますね。

この教員による保育体験は、小学校側においても、「保育園と小学校の架け橋」となる継続的な取り組みとして正式に位置付けられ、継続して実施されることとなりました。今後も一層連携を強め、子どもたちの育ちを丁寧に伝えていきたいと思ひます。

9月行事予定

日	曜日	行 事	お知らせ・お願い
1	火	防災の日	【1日 防災の日】 1923年に発生した関東大震災に由来します。「関東大震災の教訓を忘れない」という意味と、この時期に多い台風への心構えという意味を含めて、1960年に制定されました。この機会に家庭でも防災について話し合ったり、備蓄品の確認をしたりすると良いですね。園では、防災メニューをいただきます。災害時の食事について知り、給食を通して防災への意識を高めます。
2	水	身体測定(幼児)	
3	木	身体測定(未満児)	
4	金		
5	土	希望保育	
6	日		
7	月	*封筒(敬老)提出	
8	火	園庭開放	
9	水	避難訓練(地震⇒火災)、煙体験	
10	木		
11	金		
12	土	希望保育	
13	日		
14	月	祖父母への手紙投函	○敬老の日(祖父母様への手紙)について 21日の敬老の日にちなみ、子どもたちから祖父母の皆様に手紙を送ります。 本日配布した封筒に下記のように宛名書きをお願いします。 9月7日(月) までに担任に提出してください。 ・表面に祖父母様の住所・氏名、裏面には、園名の横にお子さんの名前(ひらがな)で書いてください。 ・切手は園で(福祉の心より)購入します。 ・2ヶ所に送りたい方は、担任にお知らせください。園から手紙・絵を描く用紙をお渡しします。
15	火		
16	水		
17	木		
18	金		
19	土	希望保育	
20	日		
21	月	敬老の日	
22	火	国民の休日	
23	水	秋分の日	
24	木		
25	金	プール納め、午睡終了(こあら・きりん組)給食費等振替日	
26	土	希望保育	
27	日		
28	月		【9日 避難訓練、煙体験】 ・地震から火災の避難訓練を行います。 ・避難訓練後、うさぎ・こあら・きりん組の子どもたちは、煙が充満した室内での煙体験を行います。 【25日 プール納め・午睡終了(こあら・きりん組)】 ・ひよこ・りす組も水遊びを終了します。朝からの泥んこ着用も終了となります。 ・こあら・きりん組はこの日にて午睡を終了します。 水遊び等の準備ありがとうございました。 ※残暑が厳しい場合、期間を延長する場合があります。その際には、またお知らせいたします。
29	火		
30	水		

10月行事予定

5日(月)食育体験講座(レモン):きりん組
 6日(火)園庭開放
 7日(水)避難訓練(地震)、内科検診13:00
 9日(金)屋台引き回し
 14日(水)はいチーズ撮影日
 22日(木)幼児参加会:運動遊び、はいチーズ撮影日
 23日(金)幼児参加会:運動遊び(予備日①)
 27日(火)幼児参加会:運動遊び(予備日②)
 30日(金)幼児園外保育『うさぎ山公園』はいチーズ撮影日
 ※全園児弁当持ち

※年長児(きりん組)就学時健診が10月、11月にあります。小学校からの手紙で確認をお願いします。

